

広島赤十字・原爆病院 がん地域連携パス指針【肝臓がん治療後 地域連携パス】

当院では、がん地域連携パスを次のように運用させていただきますので、ご協力よろしくお願いいたします。

1.対象患者

肝臓がん

上記疾患で、肝動脈化学塞栓療法(TACE)後、ラジオ波焼灼療法(RFA)後、肝切除後

2.パス導入時の連絡

がん地域連携パスの適応があり、患者の同意が得られれば、主治医またはパス担当者より貴院へ電話にて連携の依頼をさせていただきます。

3.当院(がん診療連携拠点病院)での診察

- ①臨床症状(体重増加、腹水、黄疸、出血傾向、脳症)の確認
- ②血液検査(末梢血一般、生化学)、腫瘍マーカーの施行
- ④腹部超音波検査、CTorMRI検査
- ⑤上部消化管内視鏡検査

4.かかりつけ医の先生にお願いする診療

- ①臨床症状(体重増加、腹水、黄疸、出血傾向、脳症)の確認

※診療情報を当院に文書(診療情報提供書)で提供いただいた場合は、月1回を限度として『がん治療連携指導料300点』を算定することができます。

5.パスの期間

治療後5年間

6.バリエーション

- ①治療後の経過観察終了
- ②患者の事情による定期受診困難
- ③死亡

2021年4月作成

広島赤十字・原爆病院
がん相談支援センター
TEL 082-241-3111(内線 3214)